

山梨が誇る武田信玄

武田信玄は、大永元年11月3日、武田信虎の嫡男として甲府で生まれた。幼名は勝千代といわれ、仮名を太郎と称した。長じて、室町幕府将軍足利義晴から一字を拝領し晴信と名乗った。

父信虎は専横の振る舞い多く、領民は塗炭の苦しみにあえいでいたといい、これを目の当たりにしていた晴信は、天文10年(1541)6月、家臣らと協議して、父信虎を駿河今川義元のもとへ追放した。息子が父を追放するという未曾有のクーデターによって、武田氏の当主交代が実現された。この時、晴信21歳、信虎48歳であった。

晴信は、父追放の翌天文11年に諏訪頼重を滅ぼし、伊那、佐久郡の中小領主を屈服させた。その後、天文17年2月、埴科郡の強豪村上義清と上田原で戦って初めての敗戦を喫したが、7月塩尻峠の合戦で信濃守護小笠原長時を打ち破り勢力を盛り返した。

晴信は、天文19年にも村上義清の属城戸石城を攻撃して敗れるが(戸石崩れ)、同21年(1552)に小笠原長時を、同23年には村上義清を追放し、信濃制圧をほぼ確実にした。しかし、村上義清らの懇請により、越後長尾景虎(上杉謙信)が武田晴信に対抗すべく南下を開始したため、武田氏と上杉氏は、北信濃川中島を舞台に、天文22年から永禄7年(1564)までの12年間にわたり、前後5回に及ぶ戦いを繰り広げた。これが世にいう川中島の戦いである。最も著名な戦いは、永禄4年9月10日に行われた第4次川中島の戦いである。だがこの戦いで、武田氏は上杉氏の南下を食い止め、信濃制圧にほぼ成功した。

晴信は、永禄2年に出家して信玄と号し、永禄4年から

9年にかけて、上杉領の上野国西部(西上野)を制圧し、同11年(1568)から元亀2年(1570)にかけて、衰退著しかった駿河今川氏真を追放し、さらに北条氏康、徳川家康と戦って、駿河国を制圧し、その勢力を東海地方にまで拡大した。

その後信玄は、将軍足利義昭らの要請を受けて、織田信長を撃破し、上洛することを決意した。そこで信玄は、越前朝倉義景、近江浅井長政らと同盟を結び信長包囲網を形成すると、元亀3年10月、大軍を率いて甲府を出陣した。信玄は12月、三方原の合戦で徳川家康軍を撃破したが、このころから、信玄は体調を崩し、元亀4年1月、三河野田城を攻略したが病状は重篤となり、もはや西上作戦を継続することは不可能となった。

武田軍はやむなく4月、帰国の途についたが、12日、信玄は信濃国駒場で陣没した。享年53歳。信玄は、死に臨んで後継者勝頼を枕頭に呼び寄せ、3年間は自分の死を秘匿することや、対外戦争をしなげることなく国力を整え、情勢が武田方にとって好転するのを待つように遺言したという。

甲斐源氏武田氏の歴史

武田家は、清和天皇を祖とする清和源氏の流れを汲む名族の出身で、源頼義の子新羅三郎義光(八幡太郎義家の弟)の子孫にあたる。武田氏は、常陸国那珂郡武田郷に拠点を構えた、源義清(義光の子)が、息子清光とともに、甲斐国市川荘に移されたのが始まりであり、この子孫は甲斐源

氏と総称された。なお、源義清・清光父子は、すでに常陸国在国時代には、在地を名字とし、武田氏を名乗っていた。その後、鎌倉幕府の創設に功績のあった清光の子信義が武田氏を継承し、甲斐源氏の中心的地位を確立した。武田氏は鎌倉期から、ほぼ一貫して守護の地位を保持し、室町期には関東管領上杉氏との縁戚となることにより、関東の諸大名の中でも極めて有力となった。

しかし、応永23年の上杉禅秀の乱に荷担したことから、武田氏が鎌倉公方から追討され、甲斐は守護不在となった。後に、室町幕府は武田信重を甲斐守護に復帰させている。信重は混乱していた甲斐をまとめきれないまま宝徳2年(1450)に戦死し、後継の信守も康正元年(1455)に夭折したため、幼少の信昌が9歳で家督を相続した。信昌は岩崎氏等の武田一族に護られて成長し、父信守死後、守護代跡部氏を寛正6年(1465)に滅亡させ、甲斐統一にほぼ成功した。その後信昌は、逸見氏などの反乱を鎮圧し、室町幕府にその実力を認められた。

だが信昌は晩年に惣領職を嫡男信繩ではなく、その弟信恵(油川氏)に譲ろうとしたため、信繩と激しく対立し、遂に内戦を引き起こしてしまった。信昌・信恵と信繩の抗争は、明応7年(1498)和睦によって終結し、家督は信繩が継承することで落ち着いた。永正2年(1505)9月に、信昌が59歳で病没すると、信繩は名実ともに甲斐守護の地位を確立するが、病気がちであった信繩も、同4年2月に病死した(享年39歳といわれる)。このため、嫡男信直(大永元年ごろ信虎と改名、以下統一)が家督を相続した。この人物こそが、信玄の父武田信虎である。

この時信虎は、わずか14歳であったが、叛乱を起こした叔父武田(油川)信恵を滅亡させ、郡内(都留郡)の国人衆小山田弥太郎らを戦死させた。永正16年(1519)には甲府を開府し、天文元年に甲斐統一を達成した。

以後、信虎・晴信(信玄)・勝頼三代にわたって戦国の世にその名を轟かせたのである。

歴史学者 平山優氏 執筆

「信玄公祭り」の誕生と歴史

❖ 観光資源として注目された「武田信玄」

山梨県では、昭和30年代から40年代中頃にかけて、新笹子トンネルや中央自動車道の開通などにより、県外から多くの観光客が訪れるようになりました。これに伴い、魅力的な観光資源の掘り起こしが盛んになり、昇仙峡などの景勝地や温泉などに加え、山梨県を代表する歴史上の人物「武田信玄」が注目され始めました。

昭和44年、川中島の合戦を描いたNHK大河ドラマ「天と地と」が放映されると、「武田信玄を観光資源へ」という流れに、より一層拍車がかかりました。

❖ 「信玄公祭り・甲州軍団出陣」誕生

信玄ブームが訪れたこの頃、県民文化の向上と観光開発を目的に甲府信玄祭りが開催されました。母体となったのは、昭和22年から始まった桜祭り和大正8年の創建後、行われてきた武田神社の例大祭における武田二十四将騎馬行列。そして、この甲府信玄祭りを全国から観光客が集まる祭りにしようとし生み出されたのが「信玄公祭り・甲州軍団出陣」です。一新された祭りには、川中島の合戦へ出陣した甲州軍団の勇姿を甲府の街に再現させるという壮大なプランが描かれました。

昭和45年4月、第1回信玄公祭りは、信玄公と武田二十四将からなる甲州軍団が壮大な戦国絵巻を繰り広げるという演出の中、多くの観客を前に華やかに幕を開けました。

❖ 山梨県の観光PR事業として位置付けられた「信玄公祭り」

昭和63年、NHK大河ドラマ「武田信玄」の放映により、再び信玄ブームが訪れました。これを機に山梨県の観光資源として「武田信玄」がさらに価値を高め1000人を超える武者行列をメインとする「信玄公祭り」は、国内最大規模の戦国武者祭りとして不動の地位を築き上げました。

信玄公役に俳優を起用するなど、創意工夫と試行錯誤の連続で創り上げられた「信玄公祭り」は今年で52回目を迎えます。

山梨県に春の訪れを告げる「信玄公祭り」は、今年も、県民や訪れる多くの観光客を魅了します。

甲斐銘菓 **くま**

うぐいす餡を黒糖羊羹で包んだ風味豊かなお菓子です。



明治44年創業
澤田屋



自然の力を、生きる力に。



私たちは韮崎の地で、「救心」をはじめとするお薬を、心を込めてつくりつづけています。

救心製薬株式会社

足場のトータルプロデュース

株式会社 **三和リース**

山梨・長野・東京

本社：山梨県笛吹市御坂町成田2436
☎055-261-0001(代)
営業時間/8:30~17:00(土曜・日曜休)



特殊車両整備・販売ならお任せください



株式会社 キムラ
山梨県甲府市国母 5-10-17
TEL (055) 226-5252(代)
http://www.kimura-inc.co.jp

印

印傳屋
●十四代 上原勇七

本店 ☎055(233)1100
甲府市中央3-11-15
営業時間/AM10:00~PM6:00
年中無休(年末年始を除く)

印傳博物館 甲府市本町2-2
印伝や鹿革に関する博物館です。
詳しくは in-den.jp

天正十年(1582年)創業。
鹿革と漆の伝統技を今に伝える甲州印伝の総本家。

山梨のみやげなら **かぶとめ**

甲斐路の思い出、たくさんあります

桔梗信玄餅 甲州ワイン
武田信玄グッズ 甲州印傳
武田神社御用達カステラ焼き

武田神社前 甲府市屋形3-7-15
■武田 店 ☎055(251)4645
甲斐善光寺参道入口 甲府市善光寺3-32-7
■甲斐善光寺店 ☎055(222)6605

発見!! 山梨の“すぐれもの”がそろそろ

地場産の駅 **かいてらす**

山梨県地場産業センター
〒400-0807 甲府市東光寺 3-13-25
TEL 055-237-1641

- 山梨県の特産品展示販売
- 無料駐車場(大型バス5台・乗用車290台)
- 大ホールから小会議室まで貸会議室も充実
- かいてらすホームページはこちらから

■営業時間:10時~17時(第4日曜日休み)
■甲府駅北口よりタクシー・バスで10分(バスは土日、祝日のみ運行)

かいてらす 検索



武田家5代当主信光末裔旅館



吸う温泉 竜王ラドン温泉



気配りの武将、武田信玄 意外な素顔

歴史学者 平山優氏 執筆

元亀3年(1572)、武田信玄は病重篤となり、余命は幾許もないと宣告された。この病は、すでに五年前から発症しており、主治医板坂法印(信玄の主治医)は、「隔(現在の胃ガン)と診断した。その原因は、思慮を重ね、心労が積み困憊したこと、つまりストレスが原因なのだという。信玄ほどの人が、ストレスで胃腸を痛めるとはどういうことか。それを推測させる逸話が『軍鑑』には、数多く残されている。

信玄の人生訓の基本は「遠慮」だという。信玄は常々、「人は遠慮の二文字を心得ることが重要だ。そうすれば分別ある人間になれる。すべてにおいて遠慮を心がけ、判断つきかねることは大身の者は家老たちに、小身の者は親類や友人に尋ねて教示を乞えば、失敗することが少なくなるだろう」と言っていたという。

部下への気配り

もちろん信玄は、それを自ら実践していた。彼は「よき大将とは、合戦の時、すべて自分の指揮で勝利をおさめたとしても、身分の低いすべての部下までほめたたえ、すべては彼らがよく働いてくれたから勝つことが出来たのだというものだ。だからそのような大将の下には、身分の上下に関わりなく優れた人材が輩出されるものだ」と述べ、自ら「遠慮」を心がけることで兵卒の統率を円滑にできると考えていた。さらに、戦い続けることの意味について「私が兵を多く集める努力をしているの

は戦に勝ち領土を拓げるためである。それでこそすべての人に褒美をやり生活をさせることが出来るのだ。そして努力した侍が立身すること、誉れの侍となるのだ」と述べ、人々を食わせることこそが、自らの使命であり、戦争を続ける理由だと考えていたという。戦国時代は飢饉と災害の時代といわれるが、だからこそ兵卒と領民を食わせることが、戦国大名の役割だった。

また信玄の死後、春日虎綱(高坂弾正)と真田昌幸が亡君の思い出話をし、号泣したことがあると『軍鑑』は記す。なぜなら、信玄は家臣らが戦死せぬよう、毎日祈りを捧げ、亡くなった家臣は身分の上下なく仏間に祀り、供養を怠らなかつたことを思い出したからだ。信玄は、虎綱と昌幸が死なぬよう、百篇も呪文を唱えていたという。

実は子煩悩だった信玄

武田信玄といえば、父信虎を追放し、息子義信を廃嫡にしたことで知られる。このことから、信玄は冷徹な政治家だとみられるむきも多い。信玄が酷薄な人間だという評価は、すでに当時からあった。宿敵上杉謙信が「信玄は親不孝者だ」といい、織田信長が「父を国から追い出し、息子を閉じ込めて死なせてしまった」と言っていることから明らかだ。

しかし、甲斐の記録に、信玄を非難するような記述は一切見当たらない。なぜなのか。それは、信玄が実は心優しく、

子煩悩だったからであり、武田家中や領民には周知のことだったからであろう。

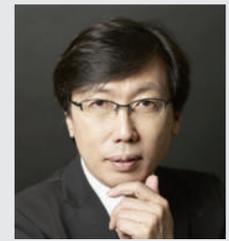
信玄は、次男竜宝(御聖導)が幼い時に天然痘に罹り、失明したことを嘆き、その回復を願った願文を残している。それによると、竜宝は、天然痘に罹り、懸命の治療のいかなく失明してしまった。信玄はそれを悲しみ、眼病に利益がある仏像に願文を捧げ、もし片眼が見えるようになったら、仏門に入れることにします。両目が見えたらあらゆる堂宇の建立と寄進に尽力します。それでも両眼が回復しないのであれば、自分の片方の眼と交換して欲しい、と記している。ここには、冷酷な信玄の涙は微塵もない。面白いのは、この信玄願文は、宿敵上杉家に写本が伝わっていることだ。

また、信玄の息女(北条氏政室)が懐妊したことを知ると安産を祈願しており、息女(松姫)が病気になるまで必死で祈願しているほどで、信玄は、実は子煩悩な父親だったようなのだ。

また晩年、京都に住む父信虎の要請に応じて、武田家の祈願寺を鞍馬寺にしており、関係修復が実現しているようだ。このように、信玄は心優しい人物であったにもかかわらず、政治家として私情を挟まなかったと考えられる。そうであるがゆえに、信玄の煩悶は大きく、死に至る病を招き寄せてしまったのではないだろうか。



「武田竜宝木像」(甲府市入明寺蔵) 写真:山梨県立博物館



ひらやま ゆう
平山 優

1964年東京都出身 歴史学者
立教大学大学院文学研究科博士前期課程史学専攻(日本史)修了
山梨県埋蔵文化財センター、山梨県史編纂室、山梨県立博物館、
山梨県立中央高等学校を経て、山梨大学、放送大学非常勤講師を
歴任

現在、健康科学大学特任教授、甲州市文化財審議委員
南アルプス市文化財審議委員、岡山市戦国宇喜多家を継承する会
等のアドバイザーをつとめている。

著書「戦国大名領国の基礎構造」で第24回野口賞受賞(2000年)。
「武田信玄」(吉川弘文館)、「山本勘助」(講談社現代新書)などで
NHK地域放送文化賞受賞(2007年)。
1988年NHK大河ドラマ「武田信玄」時代考証の資料提供
2016年NHK大河ドラマ「真田丸」時代考証
2021年映画「信虎」武田家考証
2023年NHK大河ドラマ「どうする家康」時代考証を担当。

著書は「戦国大名領国の基礎構造」(校倉書房)、「川中島の戦い」学
研M文庫、「武田氏滅亡」「戦国大名と国衆」(角川選書)、「戦国の忍
び」(角川新書)など多数。

近著に「武田勝頼」(戎光祥出版)、「小牧長久手合戦 秀吉と家康
天下分け目の真相」(角川新書)「新説 家康と三方原合戦」NHK出
版、「徳川家康と武田信玄」(角川選書)等がある。

駐車場区画線・交通安全施設・公園環境施設

ROAD 株式会社 **ロード**

甲府市下小河原町262番地 TEL 055-241-6161 URL:https://www.ro-ad.jp

The Bus of YAMANASHI
地域の皆様のために...

山梨交通

運輸事業
路線バス・高速バス・観光バス・タクシー・車両整備

関連事業
双葉サービスエリア・自動車学校・不動産賃貸・
トラベル・休処 利休・指定管理

https://ykbus.jp
甲府市飯田三丁目2番34号 TEL.055-223-0811

60th Anniversary

Ycc **YccDe** **Welfare**

株式会社ワイ・シー・シー
山梨県甲府市飯田三丁目1番2号 ☎055-224-5511(代)

情報番組 + ニュース

山梨の「スゴイ」がいっぱい!

SUGOROKU

Uワク UTU 毎月 金 夕 4時50分~6時55分

イベントのことなら何でもご相談ください

Taiki
株式会社 **タイキ**

TEL0553-47-3393
FAX0553-47-3392
〒405-0071 笛吹市一宮町北都塚 528

イベント事業部

- ・イベントの総合プロデュース
- ・イベント会場の設営
- ・イベント用品のレンタル・販売
- ・ディスプレイ用品のレンタル・販売
- ・仮設トイレのレンタル・販売

自治体と住民の最適なDX

コミュニケーションをパワーで実現

グローバルデザイン株式会社

山梨オフィス 〒400-0031 山梨県甲府市丸の内1-17-10 東武六水ビル8階
電話:055-287-7751(代) ファクス:055-220-1060

本社 〒420-0852 静岡県静岡市葵区紺屋町17番地の1 葵タワー16階

●東京オフィス ●神戸オフィス ●沖縄オフィス

朝日生命

あんしん介護 (あんしん介護 認知症保険) (あんしん介護 要支援保険) (介護年金)

介護・認知症保険は、朝日生命。

2026年 オリコン顧客満足度® 調査 介護保険(専門家評価) 第1位

朝日生命保険相互会社 甲府支社

〒400-0858 甲府市相生2-4-20
朝日生命甲府ビル5F ☎055(233)2202

本ランキングでは、専門家40名が「保険料」「商品内容」「保障の独自性」の3項目について評価を行っており、「あんしん介護」「あんしん介護 認知症保険」が、総合1位に選ばれました。

常に新しい創造をお客様のために。

Creative for You.

UTYAD.
ユーティーワイ企画